

保険ニュース杯争奪 第10回NFAフットサル大会 大会概要

- 主催：成田市サッカー協会 ■主管：市協会6種部会 ■協力：市協会審判部
- 開催日：平成30年7月29日(日) ■会場：成田市中台体育館
- 協賛：株式会社 保険ニュース/株式会社 Good Work Japan

《フットサル部、及びNFAフットサル大会の経緯》

平成19年(2007年)に新しいサッカーニーズを取り込むため、フットサルリーグ実行委員会が新設され、委員長に佐伯成一氏が就任(翌々年、仕事の関係で退任)。事業も同年5月に成田フリーグ開幕記念としてプレ大会を開催し、当時クワ成田学校講師だった田辺氏率いる《chaco・チーコ》が優勝した。同年6月より協会初のフットサルリーグ戦もスタートし、チャレンジ成田フリーグ(全28試合/チーム)と称され全8チームが熱戦を繰り広げ、初代覇者には《遠山FC》が君臨したが、翌年には参加チームも激減した事もあり、単発大会のみの開催に戻りました。

その後、平成21年(2009年)に、1種事業の「社会人フットサル大会」を6種の正式事業化し、大会名も「NFAフットサル大会」と改称してリニューアルスタートした。この時はまだ、現アリーナを2面コートで運用していたが、のちに1コート使用に運用変更しFIFAルールにも準拠した形で現在に至っている。平成22年(2010年)には6種部会に昇格し、理事に小澤慎一氏が就任、平成26年に関根李之氏に交代したが、部長職には6種設立当時から高橋祐介氏が継続就任している。今回大会から株式会社保険ニュース社、および株式会社Good Work Japan社にて大会スポンサー契約が締結された。過去大会結果は玉造SCが6回優勝と独壇場で、他チーム連覇はなく、昨年優勝のNAAに期待が寄せられる。

《過去の大会成績》

大会(開催年度)	優勝	準優勝	第3位	得点王/備考
第1回(H21年)	玉造SC[A]	アギラス	玉造SC[B]/バレンチノ	■得点王:不明 ■玉造SCが初代覇者と成る
第2回(H22年)	玉造SC[A]	玉造SC[B]	酒々井FC/FC M	■得点王:不明 ■玉造SC連覇成る(+準優勝)
第3回(H23年)	Optimisa FC	玉造SC[A]	ガンナーズFC FC Solomon	■得点王:関根李之(ガンナーズ) ■Optimisaが急浮上、玉造SCの大会3連覇阻止
第4回(H24年)	玉造SC[A]	サポターズ	Optimisa FC	■得点王:本田哲也(玉造SC) enjoy部門併用開催
第5回(H25年)	玉造SC[A]	玉造SC[B]	玉造SC[C]	■得点王:不明 ■玉造SC1~3位独占の快挙
第6回(H26年)	玉造SC	レジェンド	エスカーダ/ワンマン	■得点王:黒川和樹(玉造SC) 8点
第7回(H27年)	ルーキーズ	玉造SC[B]	レジェンド	■得点王:不明 ■玉造SC4連覇を阻まれる
第8回(H28年)	玉造SC	エスカーダ	ルーキーズ	■得点王:山崎 舟(玉造SC)・清水 剛(ルーキーズ)・藤井 樹(IUHW narita FC[B])
第9回(H29年)	NAA	栄ハーバーライツ	玉造SC[C]	■得点王:斉藤 (IUHW narita FC)



■大会会長、早乙女会長挨拶

■大会運営部と優勝トロフィ

■大会スポンサー山田氏挨拶(Good Work J)



■今回大会参加チームは全15チーム、近年にない多数参加となった

■ガンナーズ対栄ハーバーライツ



■中台体育館(アリーナ)全面使用での運用としている、今年は空調工事完了を待ったため、5月開催が真夏の7月開催となった

保険ニュース杯争奪 第10回NFAフットサル大会 結果

NAAチームがGood Work Japan及びSPORT BOYS NARITA-Bを破り、連覇成る

《戦評》今年で開催10回目の節目を迎えるが、同時に昨年優勝のNAAが、玉造SC以外で初の連覇に挑む大会となる。今年のダークホースは協賛会社でもあるGood Work Japanで強力なFW（郡司選手）と中盤に運動量豊富な山田選手を擁して初優勝を狙います、これに大会上位常連の玉造SCや栄ハーバー、ルーキーズ、そしてSPORT BOYS NARITAが絡む展開。結果はNAAが攻守にバランス良く戦い、決勝リーグでも難敵を退け、予選含み全6試合を失点1で見事連覇達成！得点王は郡司選手（GWJ）が5得点で表彰された。

～予選リーグ～

A組	ガンナーズFC	栄ハーバー	SPORT BOYS-A	Good Work J	ペリカーノ	勝点	得点	失点	順位
ガンナーズFC	●	△	●	○	4	3	5	4	
栄ハーバー	○	●	○	○	7	3	2	2	
SPORT BOYS NARITA-A	△	△	●	○	5	2	4	3	
Good Work Japan	○	○	○	○	12	11	1	1	
ペリカーノ	●	●	○	○	0	1	8	5	



得点王：郡司選手（Good Work J）5得点

～決勝リーグ～

B組	FOAZA	NAA	HANDSAME	FCポレイロ	ルーキーズ	勝点	得点	失点	順位
FOAZA	●	●	●	●	0	0	12	5	
NAA	○	●	○	○	12	9	0	1	
HANDSAME	○	○	●	△	7	7	4	2	
FCポレイロ成田	○	●	●	○	6	6	6	3	
ルーキーズ	○	●	△	●	4	4	4	4	

	Good Work J	NAA	SPORT BOYS-B
Good Work J	●	○	△
NAA	○	●	○
SPORT BOYS-B	△	○	●

優勝 NAA
準優勝 SPORT BOYS NARITA-B
第3位 Good Work Japan



■準優勝：SPORTS BOYS NARITA-B

C組	玉造SC	リベルドール	escada	やまのくまさん	SPORT BOYS-B	勝点	得点	失点	順位
玉造SC	●	△	○	○	7	5	2	2	
リベルドール成田	○	●	○	○	6	5	7	3	
escada	△	○	●	△	5	5	2	4	
やまのくまさん	●	●	△	○	1	2	8	5	
SPORT BOYS NARITA-B	○	○	○	○	9	5	3	1	



■優勝：NAA (昨大会に引き続き連覇成る)



■NAA 川島CAP他



■第3位：Good Work Japan (大健闘ながら最終戦の対NAAにて力尽きる)



■Good Work J. 山田CAP他

保険ニュース杯争奪 第10回NFAフットサル大会 チーム一覧 (Aブロック)

■このブロックは、昨大会準優勝の栄ハーバーライツと市協会老舗のガンナーズに、初参加のGood Work Japan (協賛) がどう戦うかが注目される。SPORT BOYS NARITA-Aも強力で他ブロックと比較すると死のブロック。また、今年度市協会登録外ながらペリカーノが元気に参戦もうれしいところ。

<Aブロック>



攻撃力 7
守備力 8
フィジカル 8
スピード 7
技術 7
組織力 8



攻撃力 8
守備力 8
フィジカル 8
スピード 8
技術 8
組織力 9

■ガンナーズFC(市協会1種登録)



攻撃力 9
守備力 9
フィジカル 8
スピード 9
技術 8
組織力 9

■栄ハーバーライツ(市協会1種登録)



攻撃力 8
守備力 8
フィジカル 7
スピード 7
技術 8
組織力 9

■Good Work Japan(大会協賛)



攻撃力 6
守備力 6
フィジカル 7
スピード 7
技術 7
組織力 9

■SPORT BOYS NARITA-A(市協会1種登録)



■ペリカーノ(市協会 2018年度より登録外)

■Good Work J 対 栄ハーバーライツ 両者一歩も譲らず



■ガンナーズ対栄ハーバーライツ 小差で...

■SPORT BOYS NARITA-A対ペリカーノ攻防

保険ニュース杯争奪 第10回NFAフットサル大会 チーム一覧 (Bブロック)

■昨年優勝のNAAが本命となるブロックで、これに対抗しルーキーズ、HANDSAM、ボレイロ成田がいかに失点を抑えて得点できるかがポイント。残念ながらFORZAはプレイヤーが揃わずフレンドリーチーム扱いになったので、実質4チームの対戦結果で決勝進出が決まる。

<Bブロック>



攻撃力 10
守備力 9
フィジカル 8
スピード 9
技術 8
組織力 10



攻撃力 8
守備力 8
フィジカル 8
スピード 8
技術 9
組織力 9

■NAA (市協会1種登録)前回大会優勝

■ルーキーズ(市協会1種登録)



攻撃力 8
守備力 7
フィジカル 8
スピード 7
技術 8
組織力 8



攻撃力 8
守備力 6
フィジカル 7
スピード 8
技術 8
組織力 8

■HANDSAM(市協会1種登録)

■FCボレイロ成田(市協会登録)

人数集まらずフレンドリー扱いのため、チーム写真はなし

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■FORZA(市協会1種登録)

■NAA 対 ルーキーズ



■決勝リーグ: NAA 対 Good Work J 山田選手駆け引き

■NAA 対 ルーキーズ シュートを阻むルーキーズGK戸村

保険ニュース杯争奪 第10回NFAフットサル大会 チーム一覧 (Cブロック)

■このブロックはリベルドール成田をはじめescadaなどのフットサルチームが多いのが特徴、勿論、やまのくまさんを含め各チームとも常連参加で、試合運びもフットサル特有のスピード感があり、パス回しも早い。本命は大会上位常連の玉造SC(過去6回優勝)で、これに正統派フットサルスタイルの各チームと、そして伏兵的存在の南米軍団のSPORT BOYS Narita-Bがどう挑むかが注目される。

<Cブロック>



攻撃力 8
守備力 8
フィジカル 8
スピード 8
技術 8
組織力 8



攻撃力 8
守備力 8
フィジカル 8
スピード 8
技術 8
組織力 8

■玉造SC(市協会1種登録)



攻撃力 6
守備力 6
フィジカル 7
スピード 7
技術 7
組織力 8

■escada



攻撃力 8
守備力 8
フィジカル 7
スピード 8
技術 8
組織力 8

■やまのくまさん



攻撃力 8
守備力 6
フィジカル 7
スピード 8
技術 7
組織力 9

■SPORT BOYS NARITA B(市協会1種登録)



■リベルドール成田



■決勝: Good Work J 対 SPORT BOYS-B(両者一歩も譲らず)



■リベルドール成田 対 玉造SC(勝利の行方はどちらか)

■玉造SC 対 SPORT BOYS-B(玉造SCのゴール決まる)